

令和5年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
及び地域公共交通計画の評価結果 概要（全体）

東員町地域公共交通会議 (東員町)

平成24年 7月 2日 設置

令和 3年 3月22日 東員町地域公共交通計画策定
令和5年8月改訂
(計画期間：令和3年4月～令和8年3月)

令和 4年 6月29日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和 6年 1月●●日 令和5年度評価結果送付

1. 【Plan】 協議会等が目指す地域公共交通の姿

■ 東員町の地域特性と公共交通計画

◎人口25,784人 (R2国勢調査)

- ✓ 人口の約5割を北部の住宅団地（笹尾・城山地区）が占める ⇒ **急速な高齢化！**

◎ 東員町内の公共交通

- ✓ 三岐鉄道北勢線・三岐線 (3つの鉄道駅)
- ✓ 民間路線バス (三重交通、八風バス、三岐鉄道)
- ✓ **地域間幹線系統バス (三重交通 桑名阿下喜線)**
- ✓ **町運営のオレンジバス (フィーダー系統)**
- ✓ タクシー

◎ 公共交通に関する計画

平成25年6月策定

「東員町地域公共交通総合連携計画」

- ✓ H28.10 路線名称、ルートダイヤの一部変更

令和3年3月策定

「東員町地域公共交通計画」

- ✓ R5.6 補助制度との連動化に伴う改訂
- ✓ R5.8 東員町地域公共交通利便増進実施計画の策定に伴う改訂

令和5年8月策定

「東員町地域公共交通利便増進実施計画」

- ✓ R5.10 オレンジバスのルートダイヤの再編

現在

《現行の公共交通ネットワーク》



■ 東員町地域公共交通計画の概要

《基本理念》

公共交通が暮らしを支えるまち

町民、特に交通弱者が健康で活動的な生活を送るために、公共交通を利用して移動ができる環境を整備することで公共交通が町民の暮らしを支えるまちを目指す。

《基本方針》

- 1 未来につながる公共交通（維持・活性化）
- 2 コネクトする公共交通（交通結節点強化）
- 3 身近に感じる公共交通（利便性向上）
- 4 魅力ある公共交通（魅力発信・快適性向上）

《計画期間》

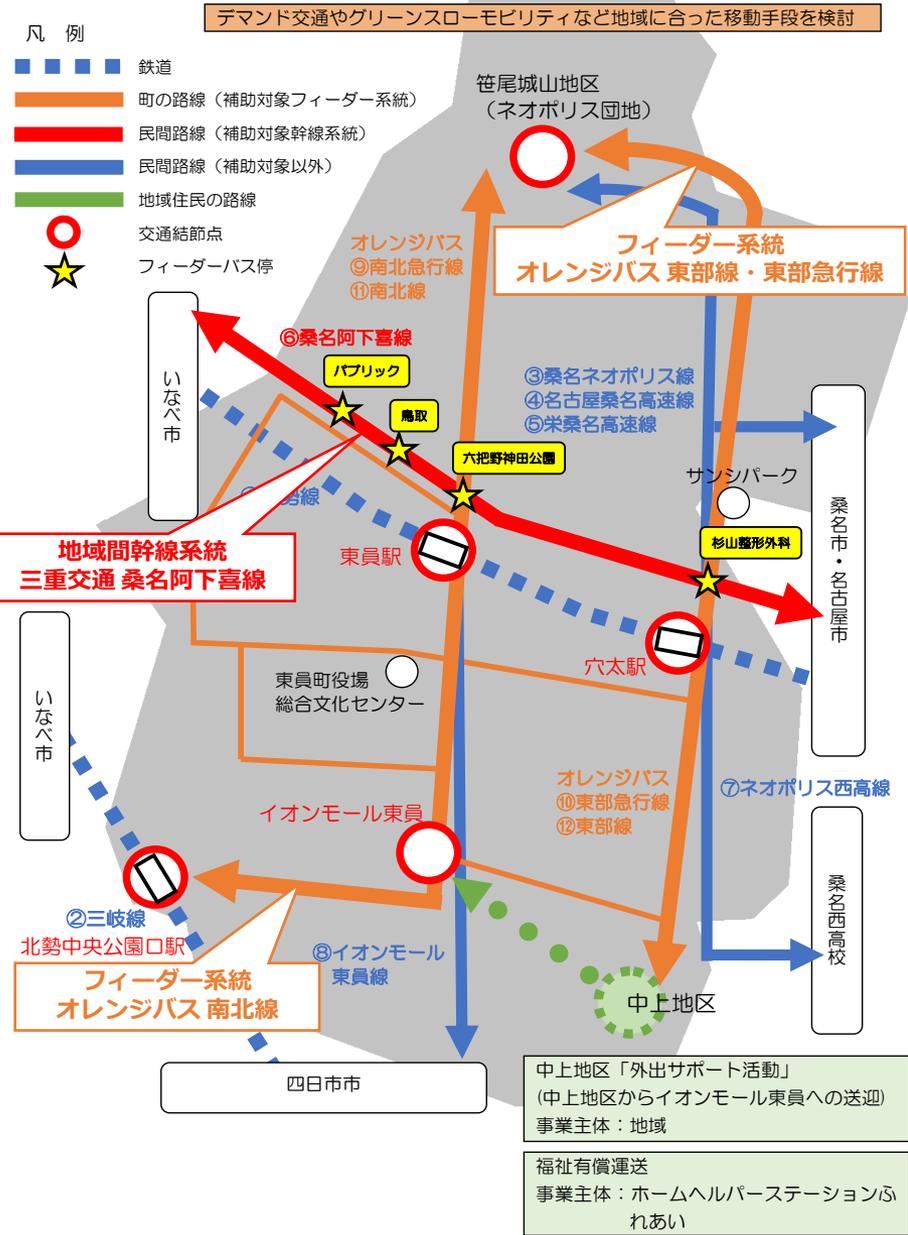
令和3年度～令和7年度（5年間）

《公共交通ネットワークの形成方針》

東西方向は民間路線、南北方向はオレンジバスで機能分担

- ✓ 隣接する桑名市などへの広域移動（東西方向）
⇒ 鉄道(北勢線・三岐線)、路線バス(桑名阿下喜線)により、民間事業者が対応
- ✓ 上記に接続する端末移動及び町内移動（南北方向）
⇒ オレンジバスにより、行政が対応

《公共交通ネットワーク図》



■ 公共交通計画に基づいた具体的な取組

オレンジバスのルートダイヤの再編

《取組の概要》

- ✓ 令和4年9月に沿線自治会へヒアリング、同年8月にオレンジバス運転手へアンケートを実施し、利用者ニーズを把握。
- ✓ 令和5年8月にオレンジバスの再編事業を中心とする、利用者の利便性向上を図る具体的な事業を定める「東員町地域公共交通利便増進実施計画」を策定。
- ✓ 令和5年10月にオレンジバスのルートダイヤ再編を実施。

《実施結果と考察》

中部公園、役場などの公的施設やローカル鉄道駅が集約する町の中心部「まちな顔」エリアや、多世代の買い物拠点として生活を支える南部の大型ショッピングセンター（イオンモール東員）へのアクセス向上を視点に、オレンジバスのルートダイヤを再編。

- ⇒ 令和5年10月、11月のオレンジバス東部線の利用者が前年と比べ約300人増加。今後、利用者数の集計、沿線自治会や利用者等へのヒアリング等によりルートダイヤの再編効果を把握。

オレンジバス時刻表の刷新

《取組の概要》

- ✓ 令和5年10月のオレンジバスのルートダイヤ再編に合わせ時刻表を刷新。

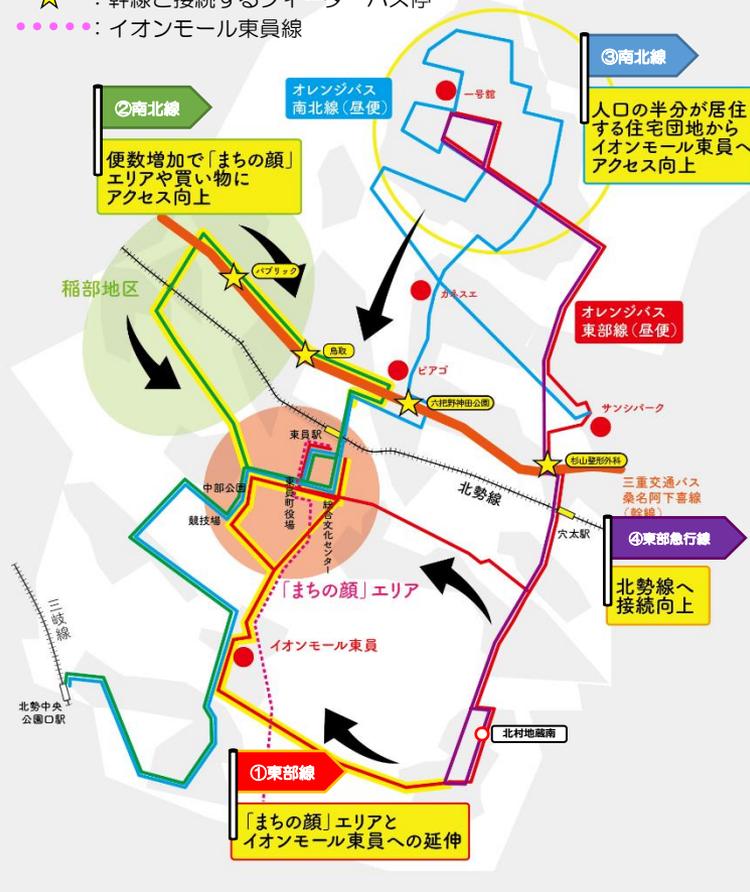
《実施結果と考察》

乗継ぎに関するわかりやすい情報提供のため、オレンジバスが接続する鉄道駅や、フィーダーバス停での地域間幹線系統バスの発着時刻、東員駅前のバス乗り場案内等を掲載。

- ⇒ オレンジバスのルートダイヤの再編に際し、大きな混乱もなく効果的にバス利用者に周知できたと推察。今後、鉄道駅や民間路線バスの利用者数の集計、利用者等へのヒアリング等により乗継案内の効果を把握。

《オレンジバスのルートダイヤ再編計画路線図》

- (紫) : オレンジバス東部急行線 (朝夕便)
- (赤) : オレンジバス東部線 (昼便)
- (青) : オレンジバス南北線 (昼便) 笹尾・城山 (城山・笹尾) 系統
- (緑) : オレンジバス南北線 (昼便) 三和・稲部 (稲部・三和) 系統
- (オレンジ) : 桑名阿下喜線 (幹線)
- ★ : 幹線と接続するフィーダーバス停
- (ピンク) : イオンモール東員線



3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

計画目標・評価指標・ 目標値		達成状況				昨 年度 比	考察
		基準値	1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度		
1 未来につながる公共交通（維持・活性化）							
鉄道の維持・活性化	北勢線利用者数を基準値以上に増加	2,551,724人 (R元年度)	2,006,168人 (R2年度)	1,923,377人 (R3年度)	2,084,178人 (R4年度)	↑	目標未達成だが、定期外利用者の増加等により昨年度より増加。
バスの維持・活性化	桑名阿下喜線の輸送量を基準値以上に増加	38.0人/日	35.3人/日	38.0人/日	40.8人/日	↑	桑名阿下喜線、イオンモール東員線は基準値以上となり目標達成。通勤・通学及び買物利用の回復による効果が大きいものと推察。
	イオンモール東員線の輸送量を基準値以上に増加	31.3人/日	48.8人/日	47.2人/日	45.1人/日	↓	
持続可能な仕組みの構築	オレンジバス収支率を15%以上とする	13.7% (R元年度)	9.9% (R2年度)	14.3% (R3年度)	14.6% (R4年度)	↑	目標未達成だが、運賃改定と利用者増により大幅に改善。
	オレンジバスの運賃収入額	8,516千円 (R元年度)	7,247千円 (R2年度)	11,107千円 (R3年度)	11,330千円 (R4年度)	↑	運賃改定により目標達成。 ※R5.6にKPIの見直し
2 コネクトする公共交通（交通結節点強化）							
交通結節点の利便性向上	東員駅の乗車人員を基準値以上に増加	184,604人 (R元年度)	139,089人 (R2年度)	140,466人 (R3年度)	155,584人 (R4年度)	↑	目標未達成だが、定期外利用者の増加等により昨年度より増加。
	穴太駅の乗車人員を基準値以上に増加	126,968人 (R元年度)	102,401人 (R2年度)	101,708人 (R3年度)	107,602人 (R4年度)	↑	
	北勢中央公園口駅の乗車人員を基準値以上に増加	104,337人 (R元年度)	81,225人 (R2年度)	80,616人 (R3年度)	85,764人 (R4年度)	↑	

3. 【Check】 計画の目標の達成状況とその理由についての考察

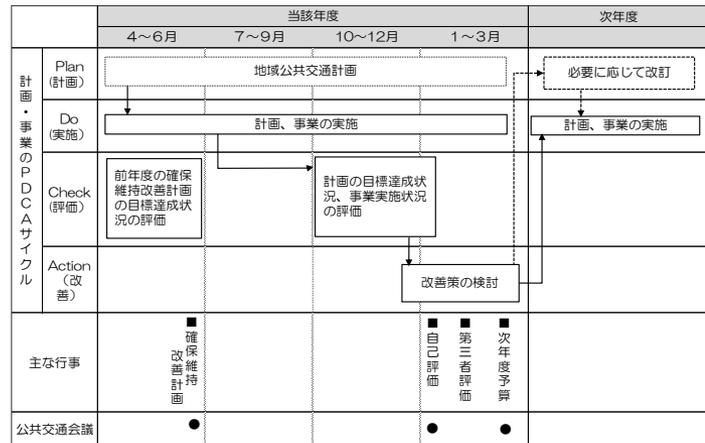
計画目標・評価指標・ 目標値		達成状況				昨年度比	考察
		基準値	1年目 R3年度	2年目 R4年度	3年目 R5年度		
3 身近に感じる公共交通（利便性向上）							
オレンジ バス再編	オレンジバス乗車人員 を基準値以上に増加	83,844人	80,092人	74,317人	76,715人	↑	<ul style="list-style-type: none"> 全体の利用者数は、通勤・通学利用（南北・東部急行線）が回復してきたことから、昨年度より増加。 令和5年10月のルートダイヤの再編において、昨年度より利用者が減少した東部線は昼便の利用が少ないことから、大型ショッピングセンター（イオンモール東員）へルートを延伸、南北線については稲部系統の利用が少ないことから4便/日を8便/日に増便し、今後増加を見込む。
【路線別利用者数の推移】						単位：人	
年間利用者数	南北急行線	東部急行線	南北線	東部線	総合計		
令和5年度実績	12,577	3,080	52,568	8,490	76,715		
令和4年度実績	11,444	2,103	51,620	9,150	74,317		
令和3年度実績	13,103	2,244	55,545	9,200	80,092		
令和2年度実績	15,000	2,585	56,202	10,057	83,844		
増減（R5/R4）	1.10	1.46	1.02	0.93	1.03		
<p>10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月</p> <p>— 令和2年度 — 令和3年度 — 令和4年度 — 令和5年度</p>							
4 魅力ある公共交通（魅力発信・快適性向上）							
外出支援	おでかけ元気パスの 利用者の延べ数 18,000人/年	0人	16,656人 (R3年度)	17,496人 (R4年度)	—	↑	広報、PRに努めたため、目標値に近い水準まで達成。

計画目標の現在の到達点	今後の取組方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道（北勢線）及び鉄道駅（東員駅、穴太駅、北勢中央公園口駅）の利用者数は昨年度より増加し、回復基調 ・ 三重交通桑名阿下喜線の利用者数は昨年度より増加し目標達成 ・ オレンジバスの利用者総数は昨年度より増加。ただし、東部線は減少。利用の増加は、コロナの終息による影響もあるが、公共交通パンフレット（もちつもたれつ公共交通）によるPR、おでかけ元気パスの配布等の利用促進施策による効果と推察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年10月に中部公園、役場などの公的施設やローカル鉄道駅が集約する町の中心部「まちの顔」エリアや、多世代の買い物拠点として生活を支える南部の大型ショッピングセンター（イオンモール東員）へのアクセス性の向上や、オレンジバスと鉄道、路線バスとの接続性の向上を重視したルートダイヤへの再編を実施。 ・ 再編の効果や再編後の利用実態を把握、分析し、ルートダイヤの改善に取り組む。また利用者の少ない地域には新たな移動手段を導入をするなど、各地域の特性に合った移動手段や運行形態を検討する。 ・ 鉄道や幹線バスなどの広域にまたがる公共交通については、引き続き交通圏内の自治体（いなべ市、桑名市）や県との協働による利用促進施策に取り組む。 <p>⇒以上により目標年度（令和7年度）には 目標値達成を目指す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジバスの収支率は目標未達成であるが、改善傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運賃改定に合わせて実施した「おでかけ元気パス事業」「未就学児の運賃無料」などの施策を継続するとともに、公共交通計画及び利便増進実施計画に基づく利用者の利便性を向上させる取組みにより利用者増を図り、収支率のさらなる改善に取り組む。 <p>⇒利用者数の増加に資する取組みを重点的に行うことで、収支率の目標年度内における目標値の達成を目指す。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ オレンジバスの運賃収入額は目標達成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年4月に実施したオレンジバスの運賃改定により、運賃収入額は目標値と比べ約1.3倍に増加したが、利用者負担が増加した影響により、オレンジバス乗車人員の目標は未達。 <p>⇒更なる利用者減を招かないよう、公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、利用者の利便性を向上させる取組みを実施。</p>

5.直近2年間の二次評価の活用・対応状況

年度	二次評価結果 (期待する取組)	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前回	1 収支率は向上しているものの、利用者数は減少している。収支率の改善だけを求めると、利便性が低下し、更に利用者数が減る懸念もあることから、収支率向上と利用者数の確保は両輪で取り組まれることを強く期待。	・利用者数を確保する取組として、公共交通パンフレット（もちつもたれつ公共交通）によるPR、おでかけ元気パスの配布等の利用促進施策を実施した結果、オレンジバス利用者数は増加。	・利用者負担が増加による更なる利用者減を招かないよう、公共交通計画及び利便増進実施計画に基づき、利用者の利便性を向上させる取組みを実施。
	2 計画の各事業の実施時期が「令和〇年以降」といった書きぶりが多いため、次回の見直しのタイミングでは実施期間を明確にすることを強く期待。	・令和5年6月の東員町地域公共交通計画の改訂において、重点的に実施する期間、継続的に実施する期間など、実施期間を明確化。	・実施事業を計画的に実施。
	3 オレンジバスのルートやダイヤを見直すことにより利用者数の増加、収支率のさらなる改善、車両更新のための財政負担の軽減を期待。	・令和5年10月にオレンジバスのルートダイヤを再編。 ・オレンジバスと北勢線との接続性の向上を重視したルートダイヤへ再編を実施し乗継の利便性が向上。東員駅とイオンモール東員間は、オレンジバスと三岐鉄道イオンモール東員線が毎時1本目の電車で接続するよう調整。	・再編の効果や再編後の利用実態を把握、分析し、ルートダイヤの改善に取り組む。また利用者の少ない地域には新たな移動手段を導入をするなど、各地域の特性に合った移動手段や運行形態を検討する。
	4 北勢線の利用減少対策として、オレンジバスと北勢線の連携を強化するためのダイヤやルートの設定をするなどの視点も必要であり、今後の取組に強く期待。		
前々回	1 地域公共交通計画に位置付けられた取組を着実に推進されることを期待。	・計画的に取組を実施。	・令和5年10月にオレンジバス南北線、東部線のルートダイヤを再編。
	2 コロナ禍においても安心して公共交通を利用してもらえるよう、公共交通における新型コロナウイルス対策をPRすることにより、利用促進につなげられることを期待。	・ケーブルテレビにおいてオレンジバスの整備や運行前点検の様子、新型コロナウイルス対策を特集し放送。また、バス車内のサイネージにおいて新型コロナウイルス対策PR動画を放送。	・公共交通における新型コロナウイルス対策として、オレンジバスへのキャッシュレス決済導入について検討。
	3 町内のフィーダー交通利用の前提となる三岐鉄道北勢線の維持・活性化に向け、積極的な役割を果たすことを期待。	・ヴィアティントレイン事業（北勢線車両の外装・内装ラッピング、高校生による車内放送用音源の作成など）、サンタ電車など、三岐鉄道北勢線の維持・活性化に資する取組みを実施。	・沿線市町（いなべ市、桑名市）及び三岐鉄道(株)と連携し、イベントなどの利用促進事業を実施。

【年間単位の評価スケジュール】



【協議会等の開催状況】

	開催日	主な議題
令和4年度第3回 東員町地域公共交通会議	令和5年 3月27日	令和5年度予算案、オレンジバスのルート・ダイヤ再編について
令和5年度第1回 東員町地域公共交通会議	令和5年 5月30日	令和4年度決算、地域公共交通計画の事業実施状況及び目標達成状況の評価、地域公共交通計画の改訂、オレンジバスのルート・ダイヤ再編について
令和5年度第2回 東員町地域公共交通会議	令和5年 6月29日	オレンジバスのルート・ダイヤ再編、地域公共交通計画の改訂、令和6年度確保維持改善計画（フィーダー系統）の認定申請について
令和5年度第3回 東員町地域公共交通会議(書面)	令和5年 8月23日	東員町地域公共交通利便増進実施計画の策定、東員町地域公共交通計画の改訂について
令和5年度第1回 東員町生活交通を考える会	令和5年 9月15日	オレンジバスのルート・ダイヤ再編の状況、令和5年度に取り組む事業について
とういんわくわくフェスタ2023への出展	令和5年10月15日	オレンジバス、北勢線等、公共交通の利用促進活動
令和5年度第2回 東員町生活交通を考える会	令和5年12月15日	イオンモール東員・ヴィアティン三重との協働事業、公共交通ワークショップについて
令和5年度第3回 東員町地域公共交通会議	令和6年 1月11日	自己評価について